

国税庁を選んだ理由は？

自分の専門性を磨きながら、制度企画から法律の執行まで、行政全般に幅広く携わることができる考えたためです。また、国際機関で勤務されている方もいるように、国境を越えた活躍の場があることも魅力的でした。【課税総括課】

「税」という国民全員が関わる行政サービスをより分かりやすく、使いやすくしたいという思いがありました。また、官庁訪問を通じてお会いした職員の皆さんの人柄に惹かれたのも大きな理由の一つです。【企画課】

学生時代、確定申告会場でアルバイトをしていた経験から、税務行政に携わるやりがいを感じたのがきっかけです。説明会などを通じて、職員の方々の人としての魅力に惹かれたので、国税庁を志望することに決めました。【総務課】

様々な経済社会活動を支えるインフラとしての税の役割は勿論のこと、ICTの目まぐるしい発展により経済社会のあり方が多様化する中で、執行の観点から税務行政を変革していくことに魅力を感じたからです。【企画課】

やりがいを感じる瞬間は？

OECD（経済協力開発機構）からの情報に多く触れることができるため、国際課税分野の最前線で働くことができます。自身の知識や英語力は未熟ですが、世界的な潮流を感じながら、税務行政の仕事に携われることにやりがいを感じています。

【国際業務課】

予算要求のための基礎資料の作成に向け、現場の声を汲むためのアンケートや、結果の分析資料の作成を担当し、自分が作成した資料にGOが出たときは、組織の一員になった実感を持つことができ、やりがいを感じました。【企画課】

私は現在、公文書の審査や国税庁の窓口担当として様々な案件の調整などを行っております。中でも自分が携わった業務が新聞やパンフレット等で世に出るなど、成果として目に見えたときにやりがいを感じます。【総務課】

会議や日常業務の中で、全国の国税局からいただいた要望等に少しでも応えられたときは、自分自身も国税庁のミッションである適正かつ公平な課税・徴収に、微力ながらも貢献できているのかなと実感します。【課税総括課】

職場の好きなおとろや職場の雰囲気は？

活気に溢れていてフレンドリーなところですよ！私が所属する課税総括課は、課長を筆頭に、気さくで快活な方が多く、笑い声の耐えない職場です。（賑やかすぎて電話越しの声が聞こえない、なんてことも・・・笑）上司や同僚にも相談しやすく、伸び伸びと仕事に取り組むことができます。

【課税総括課】

「裁量」と「サポート・フォロー」のバランスが取れている職場です。仕事に慣れない内は、周りがしっかりサポート・フォローしてくれ、慣れてくると、適宜周囲に相談しつつ、基本的な作業方針を自分で決めることが出来ます。サポート・フォロー体制が整っているので、失敗を恐れず、アクティブに業務に取り組むことが出来ます。【国際業務課】

上司や先輩方に恵まれ、業務に関することはもちろん、それ以外の何事も相談しやすい環境で仕事をさせてもらっています。また、自分の担当業務とは異なる業務を行っている係との交流も活発で、庁内で進行中の幅広い業務について見識を深めることができ、日々様々な方面から勉強させていただいています。【企画課】

職場の好きなおところは多数ありますが、特に、1年目であっても重要な案件を任せてもらえたり、国内外の出張に行かせてもらえるため、早くから貴重な経験をさせていただいております。また、酒類業の現状に詳しくなることができ、飲み会での話のタネが出来るなんてこともあります。

【酒税課】

国税庁を目指す方へ

就職は、「ゴール」ではなく「スタート」です。自分が成し遂げたいことは何か。自分と真正面から向き合い、考えてみてください。そして、その結果として国税庁を進路に選んでいただければこれほど嬉しいことはありません。皆様とともに働く日を心から楽しみにしています！【課税総括課】

国税庁は、積み重ねた経験・知識を自分の強みにしながら、日々新しいことに挑戦できる組織だと思います。今感じているやる気や憧れの気持ちを忘れず、真っ直ぐに、夢の実現に向けて頑張ってください。国税庁で待っています。

【総務課】

「税」と聞くと一見堅苦しくて難しそうなイメージがありますが、現在の税務行政はグローバル化やICTの発展に伴って変革が求められる分野として非常に面白いと思います。未来に向けてこの変革を牽引していきたいという高い志を持った学生の方々は是非国税庁を目指してはいかがでしょうか。

【企画課】

人々の生活の基盤を支える税務行政に携わることは責任も重いですが、その分手応えのある仕事です。就職活動を通じて、多くの人の意見を聞きながら、国税庁で働くことを将来の人生の選択肢として考えていただくと嬉しいです。

【国際業務課】

